

夫婦池

2つの池のうち大きい方が鏡池で、小さい方がすり鉢池です。この2つの水域は、合わせて「夫婦池」と呼ばれています。

この2つの火口池は、旭岳の複数の噴火のうちの1つ、あるいはそれ以上によって形成されました。これらの噴火が正確にいつ起こったかについての記録はありませんが、火山は約2万年前に形成され始めたと考えられています。池の周囲やもっと広い地域に散らばる大きな岩は、爆発性噴火によって放出された噴出物です。

北海道の長い冬の間、この2つの火口は雪で埋まります。積雪がないのは夏の数か月間だけです。ただし、チングルマ(*Potentilla matsumurae*)とメアカンキンバイ(*Sieversia pentapetala*)を含む数種類の植物は、これらの火口の周囲に適応して生息しています。両種ともバラ科に属し、開花期間は短く、6月から8月に開花します。